

小野ゼミで培った行動原理

第8期ゼミ長 荻野 真央

ご無沙汰しております，8期の荻野でございます。この場をお借りして近況報告をさせていただきます。

2013年は自分の中で躍動の年となりました。昨年のOB・OG会誌でも書かせていただきましたが，小野先生のご助力のもと，卒業後に論文を執筆致しましたが，その論文が日本市場創造研究会という学会の会誌に，査読付論文として掲載されました。バレンタイン商戦の最中，ヒーヒー言いながら執筆した甲斐がありました。改めて小野先生には厚く御礼申し上げます。

その論文掲載もあってか，3月に行われた人事異動で，営業部門から経営部門へと移ることになりました。ロッテグループの新規事業開発やM&Aに携わる中，様々な知識と経験を得ることができました。柄にもなく日経新聞を読み始めたのはこの頃ですが，学生時代にもっと会計学や経済学，経営学をちゃんと学んでおけばよかったと思わずにはられません。

そして，9月に行われた人事異動で，経営部門からマーケティング部門へと移ることになり，現在に至ります。まだまだ勉強中ですが，菓子事業の商品開発，販売計画，工場の稼働，プロモーション，営業のバックアップと様々なことに携わっております。入社後わずか2年にして悲願のマーケティング部門で働けることを誇りに思うと共に，

改めて小野ゼミで学んだことの大切さを感じる毎日です。

卒業してしばらくが経ちましたが，小野ゼミで骨身に染みるまで培った行動原理があることを最近強く感じます。それは，自分の頭で考え抜くということと，言葉を大切にすることです。

自分の頭で考え抜く，というのは，まさに私達が現役時代に経験してきたケースやディベート，論文執



今年度の第2回オープンゼミにて講演を行う著者

筆に現れるとおり、正解のない問題を解く中で、自分なりの正解を導き出すということにあります。日々の業務の中でも、前例や慣例が多くある中で、正解というのはありませんので、都度自分が考える余地が存分にあるのを感じます。それらの余地を活用し、自分なりの最善策を持つことの大事さを感じます。

言葉を大切にする、というのは、先のゼミ活動の数々のアウトプットとして「発表」という場が設けられるように、自分の考え方を、周囲に理解・納得してもらえるように、独自の言葉で話すことにあります。会社の各部署はもちろん、個々人でも用いる用語は違い、その用語が意味する範疇もまた違う、という現象が日々散見されます。そういったものを汲み取り、自分の中で消化し、相手がわかる言葉へと翻訳した上で、自分の考えを話すという姿勢の大事さを感じます。

今後の小野ゼミの益々の活躍と発展を祈願するとともに、それに負けぬ OB としての責務を全うできるよう、小野ゼミで培ったこれらの行動原理を忘れずに、精進したいと思います。これからもご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い致します。



本年度の三田祭打ち上げ
@高記食府にて、